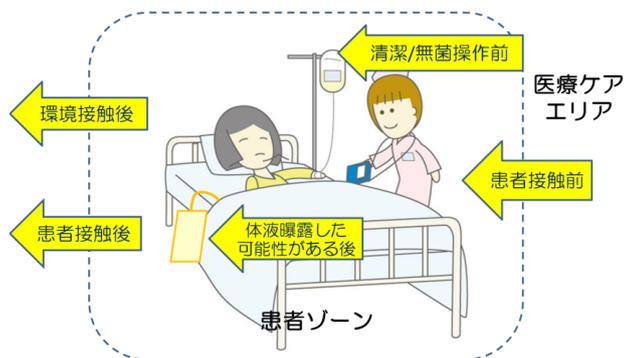




「できていますか？手指衛生の5つの瞬間」

医療における病原微生物の主たる伝播経路は【手】です。このため、危険な病原微生物の伝播による医療関連感染を防ぐために手指衛生は最も重要な対策です。

手指衛生を適切に行うことで、自分自身はもちろん患者や利用者を感染から守ることができます。



「わたしの手指衛生の5つの瞬間」いつする？なぜ必要？

1.患者に触れる前	いつ？	患者に近づきながら、患者に触れる前に
	なぜ？	あなたの手に着している病原微生物から患者を守るため
2.清潔・無菌操作の前	いつ？	清潔無菌操作に入る直前に
	なぜ？	患者本人由来のものも含め、病原微生物が患者の身体に侵入することを防ぐため
3.体液曝露リスクのあと	いつ？	体液曝露リスクの直後に、手袋を外した直後に
	なぜ？	患者由来の病原微生物からあなた自身と医療エリア(と他の患者)を守るため
4.患者に触れた後	いつ？	患者と患者周囲環境に触れた後に、患者の元を離れながら
	なぜ？	患者由来の病原微生物からあなた自身と医療エリア(と他の患者)を守るため
5.患者周囲環境に触れた後	いつ？	患者に直接触れていなくても、患者周囲環境に触れた後、その場を離れながら
	なぜ？	患者由来の病原微生物からあなた自身と医療エリア(と他の患者)を守るため

手指衛生は医療現場で問題となる耐性菌の伝播リスクを低下させるために重要です。手指消毒薬の使用量が増加すると MRSA や ESBL の分離率が減少すると報告されています。

【出典・参考資料】 日本環境感染学会 手指衛生 5 つの瞬間サポートブック
「医療における手指衛生ガイドライン」WHO